

住宅の建設をご検討中の皆さま

高性能な住まいづくり について考えてみませんか！

クルマやスマホの性能はとても気になるのに、住まいの性能を気にする人は多くはありません。

高耐震による**安全性**、高断熱による**快適性**、省エネによる**経済性**など、

「高性能な住まい」とその「メリット」について、わかりやすく解説しました。

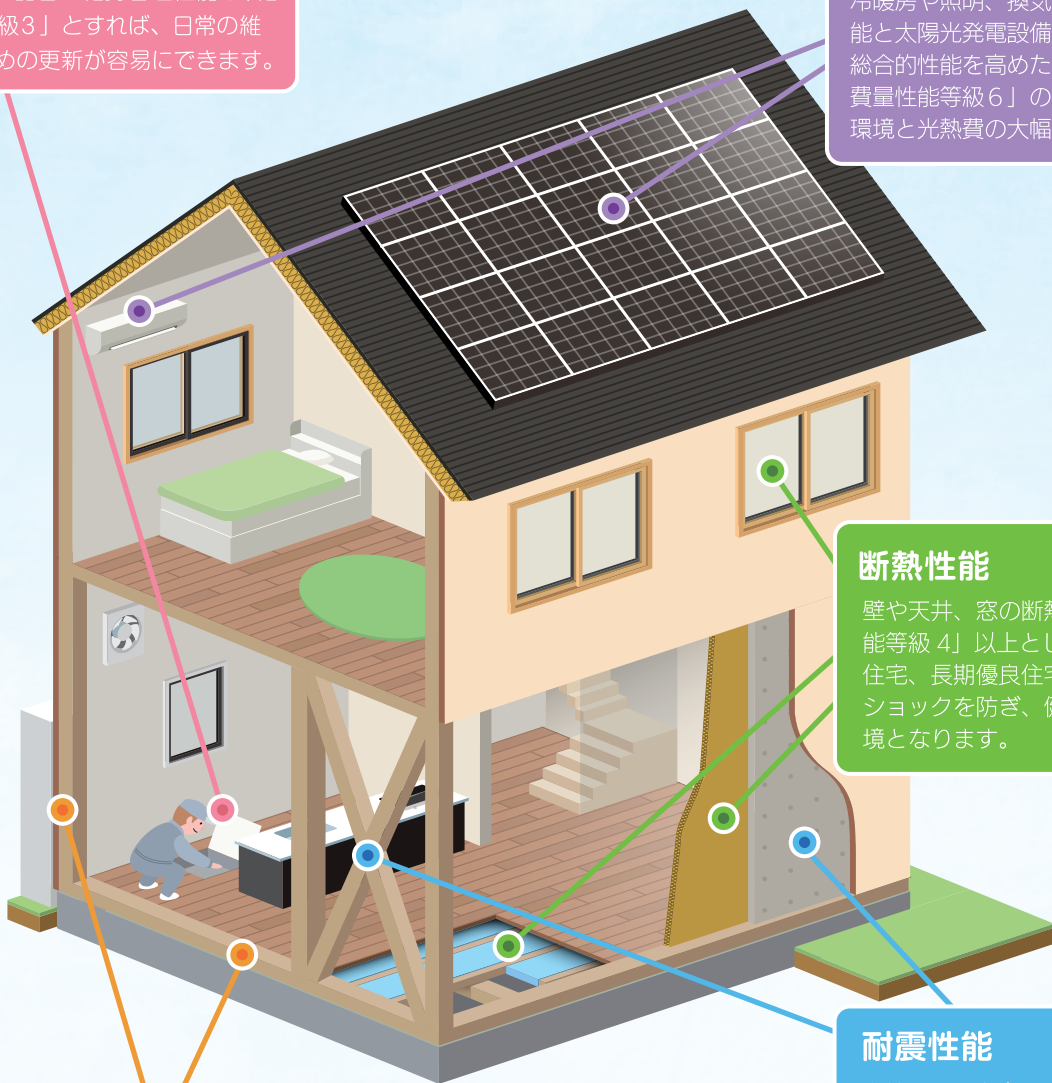
ご自身や大切なご家族を守るためにも、この機会に高性能な住まいづくりについて考えてみませんか！

維持管理対策性能

水道や排水管などの配管の維持管理性能を「維持管理対策性能等級3」とすれば、日常の維持管理や修繕のための更新が容易にできます。

一次エネルギー消費量性能

冷暖房や照明、換気設備などの省エネ性能と太陽光発電設備などの創エネ性能の総合的性能を高めた「一次エネルギー消費量性能等級6」の住宅は、快適な居住環境と光熱費の大幅な節減が図れます。



断熱性能

壁や天井、窓の断熱性能を「断熱等性能等級4」以上とした省エネ基準適合住宅、長期優良住宅などは、ヒートショックを防ぎ、健康で快適な居住環境となります。

耐震性能

大地震にも安全で、地震後もそのまま住み続けるためには「耐震等級3」の耐震性の高い住宅が安心です。

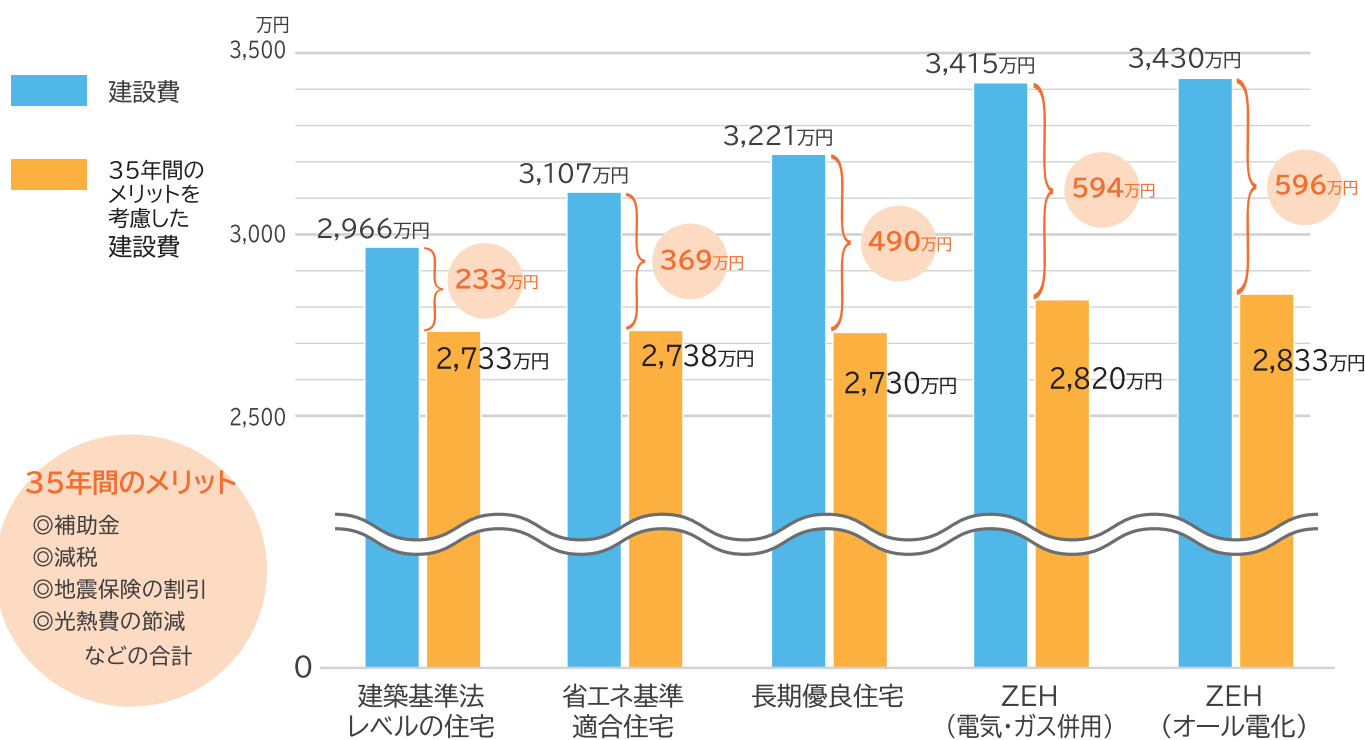
劣化対策性能

住宅の主要材料の防腐、防蟻、防錆性能を高めた「劣化対策等級3」の住宅は、三世代（75～90年間）にわたる耐久性があります。

< 建築基準法レベルの住宅と高性能住宅の性能の比較 >

	建築基準法レベルの住宅	高性能住宅			
		省エネ基準適合住宅	長期優良住宅	ZEH(電気・ガス併用)	ZEH(オール電化)
耐震性能	大地震後は住み続けられる保証はありません	大地震後も住み続けられます			
断熱性能 一次エネルギー消費量性能	冷暖房費は年間41,000円程度です ヒートショックの可能性があります	冷暖房費は年間29,000円程度です ヒートショックは防げます	冷暖房費は年間27,000円程度です ヒートショックは防げます	太陽光発電により冷暖房費をまかなえます ヒートショックは防げます	
劣化対策性能	—	三世代(75~90年間)までの耐久性があります			
維持管理対策性能	—	維持管理(点検・清掃・修繕)をしやすくするために床下点検口があります	維持管理(点検・清掃・修繕)をしやすくするために床下点検口があります また、構造躯体と仕上げに影響なく、配管の点検・清掃・修繕が行えます		

< 建築基準法レベルの住宅と高性能住宅の建設費の比較 >



単位:万円(税込)

	建築基準法レベルの住宅	高性能住宅			
		省エネ基準適合住宅	長期優良住宅	ZEH(電気・ガス併用)	ZEH(オール電化)
建設費	2,966	3,107	3,221	3,415	3,430
35年間のメリット	233	369	490	594	596
35年間のメリットを考慮した建設費	2,733	2,738	2,730	2,820	2,833

本パンフレットの事例では、高性能住宅は、建築基準法レベルの住宅に比べコスト(建設費)はかかりますが、それ以上にメリットがあり、35年間のメリットを考慮した場合の建設費は、建築基準法レベルの住宅と同等または安くなります。(ZEHを除く)
 これから自宅を建てられる方は参考にしてください。

